

令和7年度 「体験の風をおこそう」運動応援団キャラバン隊派遣事業  
「恐竜くんトークショー ～恐竜の不思議教えます～」

- [ 主 催 ] 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立曽爾青少年自然の家  
(企画・運営 体験の風をおこそう in 奈良実行委員会)
- [ 共 催 ] 宇陀市PTA協議会
- [ 期 日 ] 令和7年11月8日(土)
- [ 場 所 ] 宇陀市榛原総合センター
- [ 対象/参加 ] 対象200名 / 参加37名
- [ 担 当 ] 増田学(企画指導専門職)、畠山朝浩(事業推進係)、石地啓介(事業推進係)

## 1 趣 旨

現代の子どもたちは、体験の機会が減り、興味や関心の幅も狭くなっている。本事業では、サイエンスコミュニケーター・イラストレーターとして活躍する「恐竜くん」を講師に迎え、恐竜をテーマにした体験型サイエンス教室を開催する。

恐竜の素朴な疑問から最新の研究まで、クイズを交えながらわかりやすく解説。学術的な内容を、専門用語を使わず親しみやすい言葉とイラストで紹介し、子どもたちを謎と発見に満ちた恐竜の世界へ案内する。

科学への興味を育み、学ぶ楽しさや探究心の大切さを伝えるとともに、直接体験や人との交流の重要性を広く啓発する。地元PTA協議会と連携し、「体験の風をおこそう」運動を推進する。

## 2 プログラム展開

10:30 受付開始

11:00 開会式

11:10 トークショー

講師：恐竜くん

12:40 閉会式

## 3 活動の様子

恐竜全般に関するトークから始まり、恐竜くんが自ら描いた多彩な恐竜イラストに、子どもたちは興味津々の様子だった。続いて翼竜についてのトークでは、ケツアルコアトルスなど巨大な翼竜をテーマに、クイズを交えながら楽しく学んでいた。

クラフト作成では、極薄の発泡スチロールに翼竜の形を写し取り、ハサミで慎重に切り取る作業に真剣な表情で取り組んでいた。プレゼンのスライドは小さな子どもにもわかりやすく工夫されていた。

完成後は、広い会場を活かして翼竜を飛ばす体験を行い、子どもたちは自由に試しながら楽しんでいた。うまく飛ばない場合には恐竜くんが丁寧にアドバイスし、直接質問に行く子どもも多く見られた。

最後は、恐竜くんと参加者全員で記念撮影を行い、笑顔でイベントを締めくくった。



## 4 まとめ

アンケートでは、「翼竜のワークショップが科学的で楽しかった」「疑問にも丁寧に答えてもらえてよかった」「子どもたちが楽しめてとても良かった」「恐竜にもっと詳しくなれた」など、満足度の高い意見が多く寄せられた。今後参加してみたい事業としては、恐竜関連の企画に加え、ダンスやアクセサリーづくり、プログラミングなど多様な希望が挙がった。宇陀市・宇陀郡を中心に広報活動を行ったが、講師の設定している人数よりも応募者が少なかった。そのため内容を変更したが、広い会場を活かしたプログラムにより、結果的に参加者の満足度は高かった。